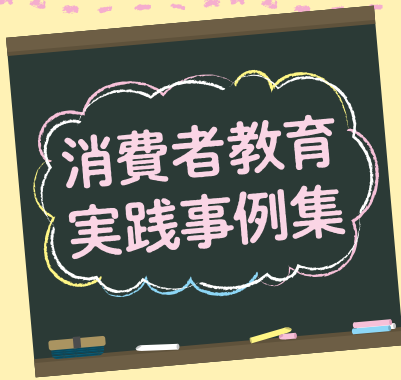


# 会社経営のゲームを通じて 社会や経済のしくみを楽しく学ぶ

一般社団法人日本経済教育センター



## 当センターの経済教育の取り組み

当センターは前身の財団法人日本経済教育センター発足(1968年)から半世紀余り、「経済教育の向上に寄与すること」を目的とし、一貫して経済教育事業を実施してきました。2008年からは当センター職員が講師となって小学校等を訪問し、子どもたちが主体的に考え、生きるために必要な資質を養うための経済教育出前授業(以下、出前授業)を開始しました。

## ゲームを用いた出前授業

当センターの出前授業は、小学5・6年生の児童を主な対象とし、開始から10年余りを経てこれまで延べ約500校、35,000名超に実施しています。子どもたちが社会や経済のしくみを楽しく学ぶことができるよう、次のようなゲームを用いた授業を行っています。

- 牛丼屋 売上げアップ大作戦
- 今日から私もすし店経営
- “もしも”から社会に参加 チャンスをつかめ 「ショッピングモール チャレンジ大作戦」

ほか

本稿では、「もしも”から社会に参加 チャンスをつかめ『ショッピングモール チャレンジ大作戦』(以下、ゲーム)による出前授業について紹介します。

## ショッピングモールの完成をめざしながら主体的に学ぶ

本出前授業では、児童が「生きる力」「考える力」を育むことをねらいとして、限られたお金の使い方、選択の重要性などをゲームを通じて体験的に学びます(写真1)。

### ●ゲームの具体的な内容

1クラスにつき、2時限(45分×2)で進めていきます。ゲームは最終15分程度を残して終了し、児童が「振り返りワークシート」を記入、その後講師がまとめの話をし、ゲームの趣旨を理解、確認できるようにしています。

ゲームはすごろくのようなボードゲームになっています。クラスの人数に応じ、3～5名ずつに班分けし、それぞれの班が経営者となり、サイコロの目によりボードを進むことでショッピングモールの完成をめざします。

教室前方にはボードをスクリーンに映写し、

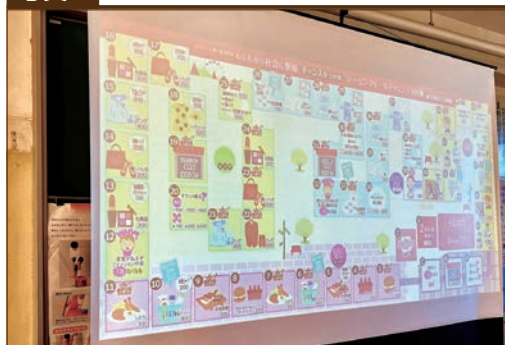
各班のコマの位置や獲得した店の状況を表示することで、参加者全員が共有できるようにしています(写真2)。

ボード上のマスには商業エリ

写真1 出前授業のようす



写真2 ボードを教室前方に映写



アが4つあり、化粧品店、携帯電話ショップ、映画館、ファストフード店などが各エリアに5店ずつ配置されています。

ショッピングモールの完成とは、いずれかのエリアの5店と他のエリアにある任意の5店、計10店(ただし、うち5店は当初から保有)を取得することです。資金は当初与えられたお金と銀行から借りたお金で、各店に付された値段を支払い、取得します。また、買取などの機会も設定されています。

そして、ボード上には店の得失やお金の増減に関するマスのほか「アクションカード」「保険」「弁護士」「地域貢献」などと表示されているマスもあります。「アクションカード」のマスに止まった場合には、新型コロナ禍やオリンピック効果など社会で起こるさまざまな出来事が記載されているカードを引き、その内容によって、店やお金の状況に影響が出ることになります。「保険」のマスではトラブルに備えて店舗の損害保険に加入するか、「弁護士」のマスでは店の運営における問題を法的に解決するかを決められます。

ゲーム中、班の中で何かを決めるときには「必ず各自の意見を出し合うこと」「他班の決定や状況などに耳を傾けること」などを講師が話しかけながら進めます。

### ●ゲーム終了後のまとめの話

講師が次のようなまとめの話をします。

- 社会では思わぬ出来事が起こる
- 使えるお金は限られている
- 私たちの生活は選ぶことの連続で、選び方によって結果は大きく変わる
- これら、授業で考え感じたことをこれからの人生に生かしてほしい

### ●本出前授業の実績と評価

2019年度は全国で小学校35校のほか、消費生活センター6カ所で開催し、受講した児童数は2,977名でした。新型コロナウイルス感染拡

大の影響もあり、近年では最も開催回数は少なかったものの、学校現場からの評価は高く、毎年の開催を要望する学校が年々増加しています。

児童からの「振り返り」では97.8%が「楽しかった」と答えました。具体的には

- 何かを決めるって、やさしいことではないということが分かった
  - 広く社会のことに目を向けることが大切で自分のためにもなると思った
  - 会社は必要なお金を集め、よく考え、必要なものに使っていることが分かった など
- また、担当の教員の50名中49名から「よかった」と回答がありました。具体的には
- 子どもたちが経済や社会のしくみに興味を持ち、本当に楽しそうだった
  - とても分かりやすく、また児童が楽しめる工夫がたくさん入っていて集中して取り組めた
  - 世の中はよいことばかりではなく、悪いことも起こり得るということを体験できたことがこれからの人生に生かせると思う など

## 今後について

新型コロナウイルス感染予防のために、出前授業の際には、毎回、「講師の健康管理および検温」「マスクの着用と拡声器の使用」「アルコールによる手指、教材の消毒」「使い捨ての手袋の着用」などの対策を行い、児童や教員に安心して授業を受けてもらえるよう心がけています。

また、今回新たにカードゲーム「鬼望<sup>きぼう</sup>のチャレンジ」を開発しました。これは3～5名で楽しめるゲームでショッピングモールの完成をめざすことは同じですが、鬼、金太郎、桃太郎、西郷どん、レンジャー隊員など、時空を超えた人物が登場し、また、戦略的な楽しみも大いに高めています。

今後も当センターの出前授業をいっそう幅広く活用してもらうための方策を検討しています。